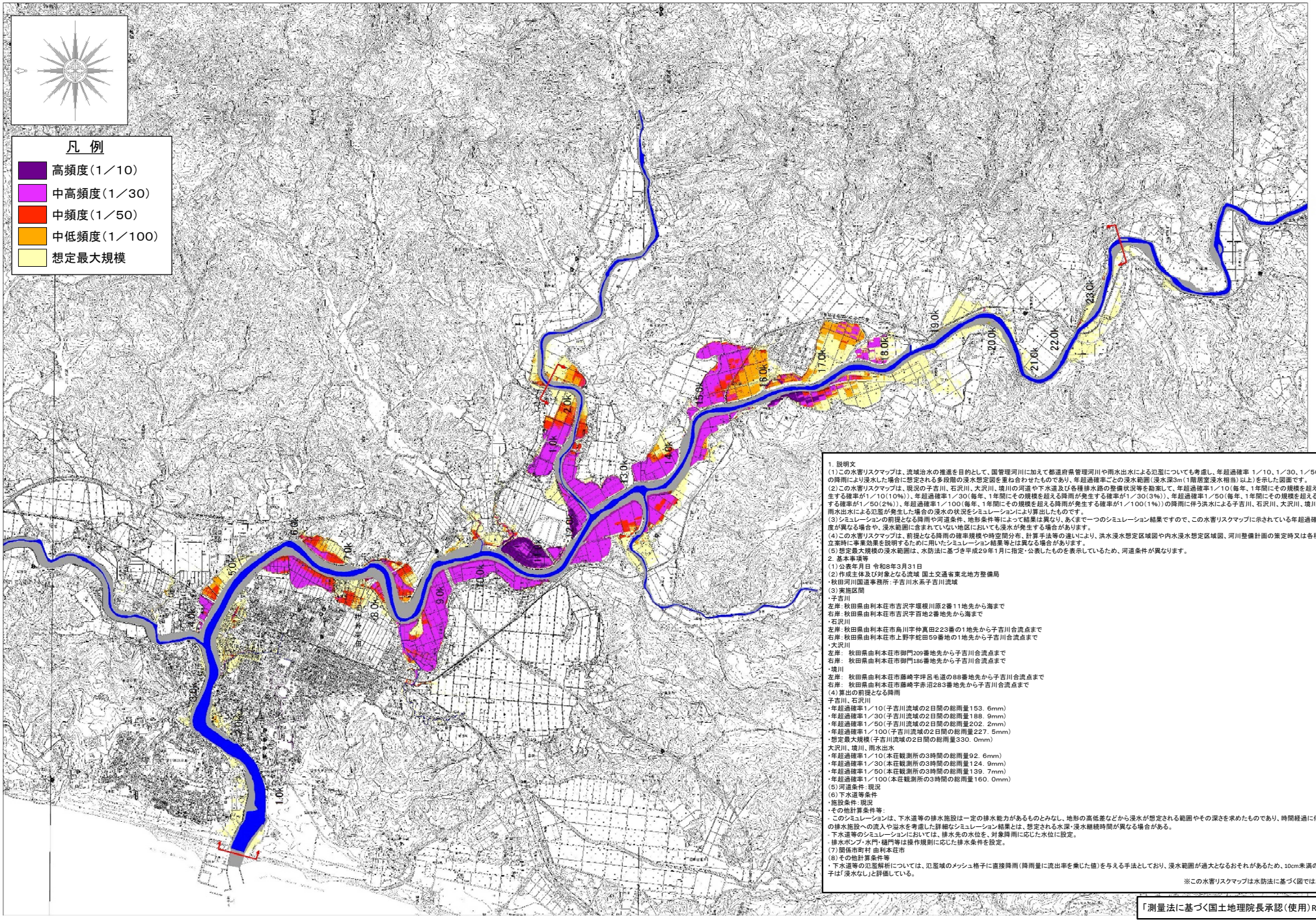
内外水統合の水害リスクマップ（３．０m以上）



1. 説明文
(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率 1／10、1／30、1／50、1／100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
(2)この水害リスクマップは、現況の子吉川、石沢川、大沢川、境川の河道や下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1／10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／10（10%））、年超過確率1／30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／30（3%））、年超過確率1／50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／50（2%））、年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／100（1%））の降雨に伴う洪水による子吉川、石沢川、大沢川、境川の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3)シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
(4)この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
(5)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年1月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
(1)公表年月日 令和8年3月31日
(2)作成主体及び対象となる流域 国土交通省東北地方整備局
・秋田河川国道事務所：子吉川水系子吉川流域
(3)実施区間
・子吉川
左岸：秋田県由利本荘市吉沢字堰根川原2番11地先から海まで
右岸：秋田県由利本荘市吉沢字百地2番地先から海まで
・石沢川
左岸：秋田県由利本荘市鳥川字仲真田223番の1地先から子吉川合流点まで
右岸：秋田県由利本荘市上野字蛇田59番地の1地先から子吉川合流点まで
・大沢川
左岸：　秋田県由利本荘市御門209番地先から子吉川合流点まで
右岸：　秋田県由利本荘市御門186番地先から子吉川合流点まで
・境川
左岸：　秋田県由利本荘市藤崎字坪呂毛道の88番地先から子吉川合流点まで
右岸：　秋田県由利本荘市藤崎字赤沼283番地先から子吉川合流点まで
(4)算出の前提となる降雨
子吉川、石沢川
・年超過確率1／10（子吉川流域の2日間の総雨量153．6mm）
・年超過確率1／30（子吉川流域の2日間の総雨量188．9mm）
・年超過確率1／50（子吉川流域の2日間の総雨量202．2mm）
・年超過確率1／100（子吉川流域の2日間の総雨量227．5mm）
・想定最大規模（子吉川流域の2日間の総雨量330．0mm）
大沢川、境川、雨水出水
・年超過確率1／10（本荘観測所の3時間の総雨量92．6mm）
・年超過確率1／30（本荘観測所の3時間の総雨量124．9mm）
・年超過確率1／50（本荘観測所の3時間の総雨量139．7mm）
・年超過確率1／100（本荘観測所の3時間の総雨量160．0mm）
(5)河道条件：現況
(6)下水道等条件
・施設条件：現況
・その他計算条件等：
・このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
・下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
(7)関係市町村 由利本荘市
(8)その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R7JHs828」